



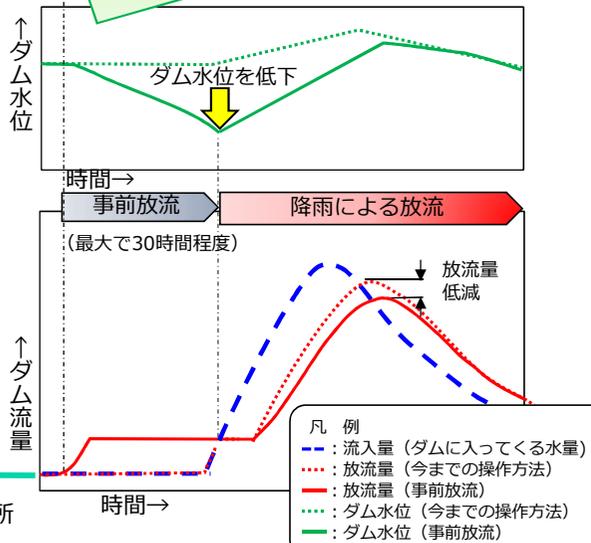
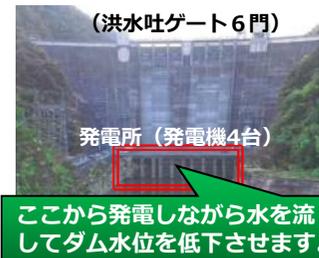
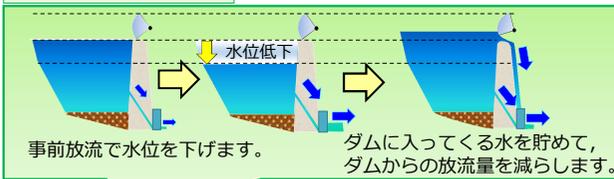
新成羽川ダムでは、2019年の梅雨期（6月中旬）から事前放流の取組みを始めます。

事前放流とは、大きな洪水が予想された場合、あらかじめダム水位を下げておき、洪水に備えるものです。この結果、ダムから放流する水量を少しでも減らしたり、ダム下流の川の水位の上昇を遅らせることが可能になります。

**事前放流による治水協力**

新成羽川ダムから発電を行いながら事前放流を実施し、水位を低下させます。

事前放流のイメージ



**事前放流の限界**

事前放流の効果は限界があり、事前放流を実施しても川の氾濫を防げるわけではありません。**自治体からの避難勧告などの指示に従って適切な行動をとってください。**  
【参考】平成30年7月豪雨時にはダム貯水量の2.3倍の水がダムへ流入しました。

**ダム情報のインターネットによる公開**

2019年6月10日より、新成羽川ダムの情報（ダム水位、流入量、放流量）を国土交通省「川の防災情報」に掲載しています。ダム情報については、いつでも以下URLと右QRコードより閲覧が可能になりますのでご活用ください。  
<https://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyoo.do>



**事前放流による水位上昇と警告**

川に入っている人の退避を目的に、成羽川に設置してあるサイレン（計19基）により事前放流を始める前の合図としてサイレンを鳴らします。それと同時に、警報車により巡回警告（川に入っている人に対して川の水位が高くなる前に危険を知らせる）を行います。巡回警告は、ダムから成羽川を経て高梁川河口まで行います。

**サイレンや警報車の放送が聞こえたら、速やかに川から離れてください。**

**注意事項**

- 晴れているときに事前放流を開始する場合があります。
- 事前放流により、川の水が急に増えます（川の水位が上昇します）。
- 事前放流を実施するときは大雨が予想される場合です。大雨による災害に注意しましょう。

**事前放流中は川の水位が1m以上上昇します！！**



出典：国土地理院HP（中国電力が一部編集・加工）  
<https://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>

事前放流後も、今後の気象情報や自治体からの避難に関する情報に十分注意してください。

この資料に関する  
お問合せ先



中国電力株式会社 東部水力センター土木第六課  
〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下原195 電話番号：0866-42-4533  
中国電力株式会社 東部水力センター水力総括課  
〒683-0823 鳥取県米子市加茂町2丁目51番地 電話番号：0859-31-3061